

参加費
無料

TCVB
Tokyo Convention & Visitors Bureau

TCVBオンラインカンファレンス2022

これからの観光 をどうするか

「デジタル」「レガシー」「DMOの役割」 から考える

公益財団法人東京観光財団(「TCVB」)では、これからの観光における課題について、毎年民間事業者等と共同で調査・研究を行い、その成果や得られた知見を広く共有・発信する取組を行っています。2021度は、「デジタル」「東京2020大会のレガシー」「DMOの役割」をキーワードに、3つの共同研究を実施しました。

本カンファレンスでは、2日間にわたり、各テーマの研究結果について皆様にご報告するとともに、観光・ビジネスイベント業界で活躍中の識者の皆様をコメンテーターに交えたトークセッションを実施します。各セッションの最後に、質疑応答のお時間も設けます。なお、セッションごとのご参加も可能です。皆様のご参加をお待ちしています。

■日時

1日目) 3月1日 (火) 14:00~16:00
2日目) 3月9日 (水) 13:00~14:15

■主催 公益財団法人東京観光財団

■開催形式 zoomウェビナー

■参加費 無料

【申込フォーム】

[こちらをクリック](#)または
二次元コードから



【申込締切】2月25日(金)

※zoomウェビナー登録・視聴リンクはお申込者に
2月28日(月)正午までにメールでお送りいたします。

お問い合わせ・お申込み

公益財団法人東京観光財団総務部総務課(企画調査)
山村、杉浦
TEL: 03-5579-2680/sasnjyokaiin@tcvb.or.jp

3月1日:セッション①

観光施設におけるMEO対策の

効果検証

~Googleビジネスプロフィール運用によって
来訪者は増加するか?~



宮本秀範氏
株式会社リーゴ
代表取締役



堀田洋平氏
TAKAO 599 MUSEUM
館長



鶴本浩司氏
トラベルボイス株式会社
代表取締役社長CEO

3月1日:セッション②

海外メディアジャーナリスト の視点から振り返る東京

2020大会 ~東京の観光プロモーションにどう活かせるか~



サイモン・ファレル氏
カスタムメディア株式会社
編集長・共同創業者



鈴木貫太郎氏
フリーランス
レポーター



東谷彰子氏
タイムアウト東京
副代表



紫富田薫氏
株式会社コングレ
専務取締役

3月9日:セッション③

DestinationNEXT FuturesStudy2019

/OrganizationNEXTからみる

アフターコロナのDMOの役割について



丸山芳子氏
株式会社ワールド・
ビジネス・アソシエイツ
チーフコンサルタント



村木智裕氏
株式会社Intheory
代表取締役



吉澤清良氏
公益財団法人日本交通公社
観光文化振興部長



ファシリテーター(全セッション共通) 田所明人

公益財団法人東京観光財団総務部次長兼
企画調査担当課長

プログラム

1日目) 2022年3月1日(火) 14:00~16:00

14:00開会、主催者挨拶/16:00閉会

14:10~15:00 セッション① <デジタル>

観光施設におけるMEO対策の効果検証

~Googleビジネスプロフィール運用によって来訪者は増加するか?~

現在、旅行者と観光施設の接点はウェブサイトやアプリ等が主流。デジタルを駆使した集客策において注目のGoogleビジネスプロフィールは、多くの飲食店や観光施設でも運用が進んでいます。本研究ではTAKAO 599 MUSEUMの協力のもと、試験的に3か月の運用効果を検証。来訪者数にどのような変化があったか、細かな運用のコツと共に報告します。

【発表者】

東京観光財団総務部総務課企画調査チーム
株式会社リーゴ代表取締役 宮本秀範氏
TAKAO 599 MUSEUM 館長 堀田洋平氏

【コメンテーター】

トラベルボイス株式会社代表取締役社長CEO
鶴本浩司氏

【共同研究報告書】

[こちらをクリック](#)



15:05~15:55 セッション② <東京2020大会のレガシー>

海外メディアジャーナリストの視点から振り返る東京2020大会

~東京の観光プロモーションにどう活かせるか~

東京が2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の開催地に決定して以来、東京への関心は世界的に高まり、関係者や観戦者の訪都も多く見込まれ、観光業界は大会に大きな期待を寄せてきました。延期・無観客という異例の開催となった大会のレガシーとは何だったのか。今後のシティ・セールス、プロモーションにはどう活かせるのか。海外メディアジャーナリストの視点から振り返ります。

【発表者】

東京観光財団総務部総務課企画調査チーム
カスタムメディア株式会社編集長・共同創業者
サイモン・ファレル氏
フリーランスライター 鈴木貫太郎氏

【コメンテーター】

ORIGINAL Inc. 取締役副社長/タイムアウト東京 副代表
東谷彰子氏
株式会社Congre専務取締役
紫富田薫氏

【共同研究報告書】

[こちらをクリック](#)



2日目) 2022年3月9日(火) 13:00~14:15

13:00開会/14:15閉会

13:10~14:10 セッション③ <DMOの役割>

DestinationNEXT Futures Study2019/OrganizationNEXT

から見るアフターコロナのDMOの役割について

世界的なパンデミックの発生から約2年、ウィズコロナに舵を切り、観光を再開する国や地域も出始めました。地域の観光の中核を担うDMOに必要な役割とは何か。米国MMGY Next Factor社は、毎年世界のDMOを対象とした大規模な意識調査を実施しています。2019年、2020年、そして最新の2021年の調査結果も踏まえ、アフターコロナのDMOに必要な戦略、トレンドについて紐解いていきます。

【発表者】

株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ(WBA)
チーフコンサルタント 丸山芳子氏

【コメンテーター】

株式会社Intheory代表取締役
村木智裕氏
公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部長
吉澤清良氏

【共同研究報告書】

[こちらをクリック](#)



*セッションによって実施日が異なりますのでご注意ください。

*各セッションと関連する共同研究の報告書はTCVBウェブサイトに掲載しておりますので、宜しければ【共同研究報告書】のリンクからご覧ください。

*ファシリテーターは全セッション共通で、東京観光財団 田所明人です。

【発表者／コメンテーター紹介】

株式会社リーゴ

観光DXを推進するスタートアップ企業。旅行者が旅行中に最も使うGoogleマップ。その管理ツールであるGoogleビジネスプロフィールを行政経路で、ホテル・飲食店・ショッピングモールなどへ推進を図っている。また、それらのデータを網羅的に分析するツールを提供することで、エリアの高速PDCAを実現。今後は、各種SNS・WEBサイト・キャッシュレス決済データなどと連携を目指している。カンファレンスには、創設者であり代表の宮本秀範氏が出演。



トラベルボイス株式会社代表取締役社長CEO 鶴本浩司氏

令和3年度TCVBアドバイザー会議委員。外資系企業、オーストラリア政府観光局を経て、観光産業ニュース会社「トラベルボイス」を設立、代表に就任（現任）。その他、観光に特化したマーケティング会社「マーケティング・ボイス」代表、テクノロジー企業「パイブHD」（東証一部）社外取締役、観光庁長官表彰・審査委員なども兼任。講演や執筆も多数。



TAKAO 599 MUSEUM

2015年8月に八王子市が開館した入館料無料の観光施設。館内には高尾山に生息している動植物のほく製や標本などを展示し、開放感のあるカフェも併設している。野外の芝生広場は広く開放し、市民に親しまれ、近隣県からの来訪者も多い。カンファレンスには、館長を務める堀田洋平氏が出演。



3月1日(火) セッション①

カスタムメディア株式会社 (Custom Media K.K.)

バイリンガルのデジタルマーケティング、コンテンツクリエイションサービスを提供する総合戦略コミュニケーションエージェンシー。国内外の出版・メディア・放送業界等へのネットワークを有し、様々な業界の企業・団体のコンテンツ制作やプロモーションを手掛ける。カンファレンスには、編集長・共同創業者で日本外国人特派員協会役員でもあるサイモン・ファレル氏(写真左)が出演。また、同協会役員であり、「The New York Times」や2021年にノーベル平和賞を受賞した人権ジャーナリスト、マリア・レッサ氏が共同設立したフィリピンの大手メディア「Rappler」等、幅広い海外メディアで活躍中のフリーランスライターである鈴木貴太郎氏(写真右)が出演。



ORIGINAL Inc. 取締役副社長 / タイムアウト東京 副代表 東谷彰子氏

令和3年度TCVBアドバイザー会議委員。幼少期はマニラで、中学高校はバンコクで過ごす。大学卒業後、TOKYO FMに入社。ディレクターとして多様なジャンルの番組制作を担当。2010年1月、ORIGINAL Inc.に入社。同社が運営する「タイムアウト東京」のコンテンツディレクターとして、取材、執筆、編集、企画営業、PRなど幅広い分野で活躍。国内外にアーティストから学者、スポーツ選手まで幅広いグローバルなネットワークを持つ。企業や省庁、自治体向けの高品質な多言語対応は高い評価を得ている。2020年10月、渋谷区観光協会フェローに任命された。



株式会社コングレ専務取締役 紫富田薫氏

メーカー勤務を経て、コンベンション企画運営会社に入社後、博覧会やイベントの運営を担当。コングレの設立に参画し、主にコンベンションの誘致・企画・運営に従事。医学会・官公庁・企業等幅広い分野を担当。主な実績：G7サミット、IMF・世界銀行年次総会、ITS (Intelligent Transport System) 世界会議、世界眼科学会、日本医学会総会、等。MICE施設を中心としたまちづくりにも参画。世界20か国から各国代表のPCO (Professional Congress Organizer-会議運営会社) が加盟するWorld PCO Allianceの設立にも参画し、Secretary Generalを務める。



3月1日 (火) セッション②

株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ (WBA)

国内、海外を舞台に活躍する、調査、コンサルティング会社。観光では、観光地域づくり法人(DMO)や地方公共団体を対象に、戦略策定、地方創生、持続可能な観光などの分野に対応。カンファレンスには、チーフコンサルタントの丸山芳子氏が出演。海外DMOに関する専門家であり、米国、欧州各地のDMOと幅広いネットワークを持つ。米国DMO団体Destinations International財団評議員。DMO幹部向け資格CDMEの日本初の取得者。日本観光振興協会総合調査研究所客員研究員。



株式会社Intheory代表取締役 村木智裕氏

令和3年度TCVBアドバイザー会議委員。広島県総務部財政課、県議会事務局議長秘書、瀬戸内海の道プロジェクトチームにてせとうちDMOの設立を担当し、一般社団法人せとうち観光推進機構エグゼクティブマネージャーに就任(2020.3退任)。2018年に広島県を退職後に株式会社 Intheoryを設立。観光庁登録インバウンド専門家、VISITはちのへCMO、島田市アドバイザー、東広島市アドバイザー、金沢市観光振興会議委員等多方面で活躍。



公益財団法人日本交通公社

観光文化振興部長 吉澤清良氏

令和3年度TCVBアドバイザー会議委員。同財団の旅の図書館長、主席研究員も務める。観光計画・戦略の策定、観光資源評価、ユニバーサルツーリズム、人材育成研修等の企画・運営等を専門に活躍。秋田県観光振興ビジョン検討委員、立教大学観光学部兼任講師等を歴任。東京観光財団との共同研究などを通して東京都内の観光協会等の事情にも詳しい。



3月9日 (水) セッション③